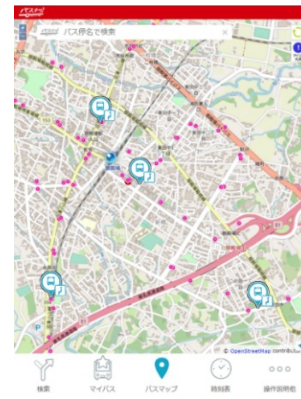


2022年3月8日



富士急行株式会社
富士急モビリティ株式会社

バスの走行位置と混雑度がスマホで分かる 「富士急モビリティバスコンシェルジュ」 3/11(金)より導入



※画面は開発中のイメージです。

富士急グループの富士急モビリティ株式会社（本社：静岡県御殿場市、取締役社長：志村公聖）は、運行する路線バス 31 台に、新たにバスロケーションシステム「富士急モビリティバスコンシェルジュ」および「リアルタイム混雑情報提供システム」を 2022 年 3 月 11 日（金）より導入いたします。

「富士急モビリティバスコンシェルジュ」の導入により、運行中のバスの現在地や停留所への到着予測時刻、遅延情報などの運行状況をリアルタイムで把握でき、わかりにくかった路線バスのイメージを一新、利便性が飛躍的に向上します。また、御殿場駅バスロータリーに同サービスと情報連動したデジタルサイネージを設置し、発車予定時刻や遅延情報をリアルタイムで提供します。

「リアルタイム混雑情報提供システム」は、バス乗降口のセンサーにより乗降人数を計測し、バス車内の混雑度を 3 段階で表示します。PC・スマートフォンでバスのリアルタイムの位置情報と車内の混雑情報が確認でき、混雑したバスを避けることで、乗車率の平準化と遅延防止が期待できます。

なお、本サービスの導入にあたって、国土交通省、静岡県、御殿場市、小山町より各種補助金の交付を受けております。

また 3/12（土）には富士急グループの富士急湘南バスにおいても同様のサービス提供開始を予定

